

出生届の記入例

*簡単に消すことが可能なペンで書かないでください。
*誤ったときは二重線で訂正してください。

届出する年月日を記入してください。

出生届

受理 平成 年 月 日	発送 平成 年 月 日					
第 号	第 号					
送付 平成 年 月 日	長印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

群馬県邑楽郡板倉町長 殿

子の氏名は正確な字体で書いてください。名前に使える字には制限があります。(常用漢字・人名用漢字・ひらがな・カタカナ)詳しくはお尋ねください。

(よみかた)	たなか	かおり	父母との続き柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子 (長 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女)
子の氏名	田中	佳織		<input type="checkbox"/> 嫡出でない子 (口男 <input type="checkbox"/> 口女)
生まれたとき	平成 22 年 1 月 24 日		<input checked="" type="checkbox"/> 午前	8 時 37 分
生まれたところ	群馬県館林市本町	〇〇〇	番地	〇 号
住所	群馬県邑楽郡板倉町大字岩田	〇〇〇〇	番地	〇〇 号
(住氏登録をするところ)	(よみかた) たなか としいち		世帯主の氏名	田中 俊一
			世帯主の続き柄	子の子

生まれた子が嫡出でない子の場合、父の氏名、生年月日は空欄になります。

父母の氏名	父 田中 俊彦	母 田中 雅子
生年月日	昭和50年 6 月 16 日 (満 34 歳)	昭和53年 2 月 15 日 (満 31 歳)
(子が生まれたときの年齢)		

父母の本籍を記入します。

本籍	群馬県邑楽郡板倉町大字飯野	〇〇〇	番地	番
(外国人のときは国籍だけを書いてください)	筆頭者の氏名	田中 俊彦		

父母の世帯の主な仕事を記入します。

同居を始めたとき	平成 2 0 年 1 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めるときのうち早いほうを書いてください)	
子が生まれたときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあってはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあってはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年-平成 年-の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)</small>	
父母の職業	父の職業	母の職業

本届出書中
字削除
字訂正
字加入

田中

届出人は父または母です。届出人が署名押印した後は、届出書を持参するのは親族その他の方でもかまいません。

届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 () <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産婦 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長			
住所	群馬県邑楽郡板倉町大字岩田	〇〇〇〇	番地	番
本籍	群馬県邑楽郡板倉町大字飯野	〇〇〇	番地	番
署名	田中 俊彦	印	筆頭者の氏名	田中 俊彦
署名	田中 俊彦	印	昭和50年 6 月 16 日生	
事件簿番号		連絡先	電話 (82) ×××× 番	自宅・勤務先・呼出 方

嫡出子の場合、同一父母から生まれた順序にしたがって「長」、「二」、「三」と記入し、男女の別にチェックします。嫡出でない子の場合、母が分娩した嫡出でない子の出生の順序にしたがって「長」、「二」、「三」と記入し、男女の別にチェックします。

出生証明書の「生まれたとき」「出生したところ」を写してください。住所のみで施設の名称は記入の必要ありません。

世帯主が祖父なら「子の子」と書きます。「長男」「長女」「養子」「養女」等の場合でも「子」と記入します。

◎母子健康手帳と届出人の印をご持参ください。

必ず連絡先の電話番号をご記入ください。

「子の氏名」欄は空欄でもそのまま提出してください。

出生証明書は、医師または助産師にしか記入できない欄です。絶対に加筆・修正しないでください。

出生証明書

子の氏名	男女の別	1男 <input checked="" type="checkbox"/> 2女
生まれたとき	平成 22 年 1 月 24 日	午前 8 時 37 分 午後
出生したところの種別	出生したところ	群馬県館林市本町 〇〇 番 〇 号
出生したところ及びその種別	出生したところの種別 1~3	施設名称 ×× 医院
体重及び身長	体重 3,110 グラム	身長 49.0 センチメートル
単胎・多胎の別	① 単胎	2 多胎 (子中第 子)
母の氏名	田中 雅子	妊娠週数 満 38 週 3 日
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む)	1 人
	死産児 (妊娠満22週以後)	0 胎
① 医師	平成 22 年 1 月 24 日	
② 助産婦	(住所) 群馬県館林市本町 〇〇 番 〇 号	
③ その他	(氏名) 齊藤 元	印

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産婦以外の者で、わからなければおまかせください。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産婦とも立ち会った場合には医師が著くより1、2、3の順序に従って書いてください。

持参いただくもの

- ① 出生届書
- ② 届出人の印鑑 *スタンプ印は不可
- ③ 母子健康手帳